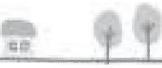



第3章

計画における基本的な考え方





第3章 計画における基本的な考え方

1 計画の基本理念

第1期計画までの事業との一貫性という意味から、これまで基本理念としてきた『子どもの夢、そして、幸せを実現する社会の構築』『地域で子育てを支援し、少子化に歯止めをかける体制づくり』を、本計画においても継承します。

少子高齢化社会にあって、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、生き生きと育つことは市民すべての願いです。自粛で育つ子どもたちが、地域の人々の温かいぬくもりにつつまれて、子育てがしやすいと実感できるまちを目指します。

子ども・子育て支援については、子どもの視点に立ち、子どもの生存と発達が保障されるよう、良質かつ適切な内容及び水準の教育・保育環境を確保し、一人ひとりの「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指します。

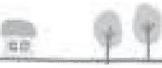
また、父母その他の保護者は、子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識を前提とし、家庭・学校・地域・職域その他の社会のあらゆる分野におけるすべての構成員が、それぞれの役割を果たすことが必要です。

さらに、地域や社会全体で子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、相互に協力することにより、保護者が子育てに不安や負担ではなく喜びや生きがいを感じることができるように配慮して、この計画を推進します。

〈基本理念〉

『子どもの夢、そして、幸せを実現する社会の構築』

『地域で子育てを支援し、少子化に歯止めをかける体制づくり』



2 計画の基本目標

本計画における、「基本目標」に関しては、事業の一貫性という意味からも、「第1期計画」と同じとします。

【基本目標1】 地域が支える、笑顔輝く子どもが育つまちづくり

子ども一人ひとりが自分の良さや可能性を見出し大切にし、希望を持って幸せな生き方を切り拓く力を育むまち

臼杵市は、自然豊かで、森づくりや有機農業の推進にも市独自の方針を持ち、命を大切にするまちです。国宝臼杵石仏をはじめ多くの史跡や文化財、貴重な歴史的財産が大切に残されており、早くから南蛮文化にふれた中で、質素儉約で勤勉・文化的な臼杵人気質を作り上げてきました。主要産業として、醤油、味噌等の醸造業があり、食を大切にするまちでもあります。

このふるさと臼杵に誇りを持ち、どんな状況におかれてもたくましく生きていける知恵を身につけ、自分の体を作る「食」を大切にし、笑顔で自分の人生を歩んでいける子どもの育成を支援していきます。

子どもは誰もが自分の良さや可能性を、自ら発揮できる力を備えています。子どもの成長を長い目で見守り、一人ひとりに応じた関わりのなかでその力を最大限引き出すことが、保護者をはじめとした私たち大人の役割です。

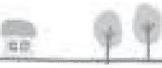
【基本目標2】 地域が支える、安心して生み育てられるまちづくり

子どもが成長するそれぞれの段階で、親や周りの人々が子どもたちを「地域の宝」として豊かな愛情を持って育むまち

子どもを生み、育てやすい環境を整えるためには、結婚、妊娠・出産、乳幼児期、小中学校、高校まで一貫した支援が必要であり、そこには、保健・医療・福祉だけでなく、住まい・環境・仕事の場の整備など総合的な取組が求められます。

特に、妊娠から出産、育児と子育て中の家庭では、様々な不安や悩みを抱くものです。それぞれの段階で抱える乳幼児期の子どもの身体の問題、共働き家庭の保育や核家族化による育児不安、放課後児童対策、進学問題など社会や家庭環境の多様な問題に対応した行政サービスが必要です。

また、サービスを提供するだけでなく、「子どもは地域の宝」として、地域の様々な世代の人々が温かく関わり、支えあうという意識の醸成が、安心して、子どもを生み育てられるまちづくりを進めていくことになります。



3 計画のめざす姿と基本的な視点

本計画における、「めざす姿」と「基本的な視点①～⑥」に関しては、事業の一貫性という意味からも、「第1期計画」と同じとします。

めざす姿

「子育ての喜びを実感できるわがまち臼杵」

～生まれてよかったです！育ってよかったです！～

基本的な6つの視点

- ① 「子どもにとっての支援」
- ② 「保護者への支援・家庭の子育て力を高める支援」
- ③ 「それぞれの成長段階に合わせた一貫した支援」
- ④ 「子どもを、自立した社会人に育てる支援」
- ⑤ 「臼杵市の特性（臼杵らしさ）を生かした子育て支援」
- ⑥ 「様々な担い手による地域・社会全体での支援」

4 計画の施策体系

本計画は、次の「施策の体系図」に基づいて効果的・効率的な施策の実行を目指します。



■施策の体系図■

《基本理念》

